

山田みやこの活動報告

令和7年5月23日（金）

連合議員懇談会主催講演会

「魅力ある栃木を創る財政の視点」

講師 白鷗大学法学部 藤井亮二 教授

- ・大学のゼミ・卒論で学生が地元を取り上げると、
県外者だけでなく、地元の者も魅力を感じない?!

↓

栃木県のブランド力を高める

誰でも「日光」は知っているが、栃木県にあることを知らない

↓

栃木県の産業振興政策の工夫

- ・栃木県の魅力はなんだろう？

世界遺産「日光社寺」、日本一のいちごの産地

日本最古の総合大学「足利学校」、北関東初の50万人都市「宇都宮市」

ユネスコ文化遺産の「結城紬」、ラムサール条約湿地「奥日光湿原」「渡良瀬遊水地」

- ・なぜ魅力を知ってもらえないのか？

地元ではありふれた風景、外部の目には新鮮さ

起爆剤は？ ⇒ よそ者、若者、ばか者

- ・栃木の「売り」は何か

首都圏への近さ、東西南北の交通の要所、ものづくりによる受け継がれる堅実性

※栃木県の魅力は

①県・市・町レベルでは潜在的にある

②誰が見出すか、見出されたものをどう活かすか、どうやって発信するか

③行政・企業・住民のトライアングル

○財政の視点から可能性を探る

施策の展開を支える財政の健全化、施策と財政は車の両輪

○自治体が何をやっているか、理解・協力してもらう

○財政は「行政の顔」

○財政を読み解き、施策の後押しをする

○財政の見方、考え方は

タテ： 時系列を追ってみる（中長期の視点） ヨコ： 他を比較してみる

決算シートから ①過去10年間でタテに見る

②隣県との比較をヨコに見る

③栃木県と同人口の他県を比較

施策の効果を毎年分析 ⇒ 決算を重視する

※財政状況をしっかり把握し、どんな政策が効果的か判断することが議員に求められる

